

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料  
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
アスパルテーム	アスパルテームは、アスパラギン酸とフェニルアラニン（アミノ酸）をペプチド結合させて製造される甘味料であり、飲料や食品に添加される。体内に入ると、主にアスパラギン酸とフェニルアラニンに分解される（そのためフェニルケトン尿症患者では危険性がある）。2002年から2007年にかけて、発がん性リスクに関する論文が続けて公表されEFSA等が再評価したが、発がん性の関連性を示す徴候はないと結論を出している。	〈国内〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全委員会による評価状況：なし</li> <li>・厚生労働省：食品添加物として指定。L-フェニルアラニン化合物の表示義務。平成18年度調査で、ADI比0.0025%を確認。</li> </ul> 〈国外〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・WHO/FAO合同食品添加物専門家会議(JECFA)：一日摂取許容量(ADI)設定(1980(S55))。</li> <li>・米国食品医薬品庁(FDA)：一般的な甘味料としての使用は安全であるとする見解(2007(H19))。</li> <li>・世界各国で使用されている。</li> </ul>